

令和2年7月豪雨災害活動報告

令和2年7月6日、線状降水帯による大雨によって、佐賀県南部の鹿島市や太良町を中心に浸水被害が発生しました。

当団体は、一昨年前に豪雨被害を受けた地元で活動を開始し、本当にたくさんの方がボランティアとして駆けつけ、助けていただきました。その時にいただいたご恩をお返しするために、被災した佐賀県南部の地域へ赴きました。

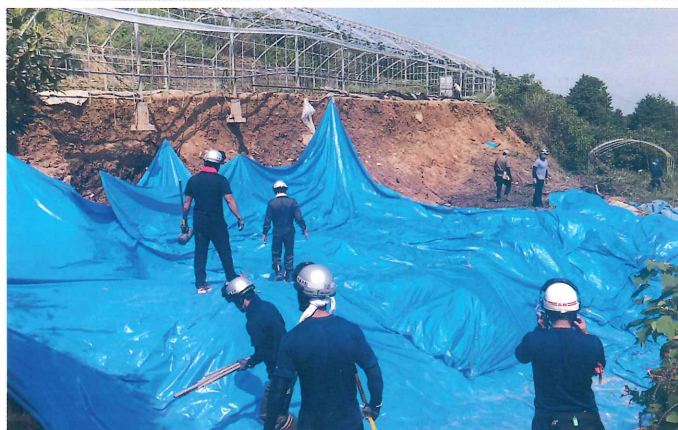
そこで太良町を中心に太良町社会福祉協議会の皆様と連携をしながら、被災世帯への支援活動を行うこととなりました。

加えて、新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、災害だったため、県内外の多くの方にご協力を仰ぐことができない状況下、ボランティア活動時に関する感染予防のガイドラインを作成し、県内に限ったボランティア募集を行いました。最終的には県内からのべ500人を超える方々が活動にご参加いただきました。

さらには、災害救助法が適用されない自治体で被災をされた方を対象にクラウドファンディングを通じて「おもやい生活再建支援金」を呼びかけたところ、多くの方にご協力くださりお配りすることができました。

これ以上の災害が起こって欲しくありませんが、今後も多くの方にご協力を仰ぎながら活動を継続して参ります。

皆様、本当にありがとうございました。



九州各地で豪雨災害の発生

7月4日 線状降水帯による豪雨により熊本県球磨川流域に甚大な豪雨による被害が発生

7月5日 人との接触を極力避け、救援物資を人吉市まで日帰り配達

7月6日 続く大雨で長崎・佐賀・福岡・大分と各地でさらなる被害が発生
SNS等の情報源から、佐賀県南部の鹿島市・太良町で被害が発生していることが判明



太良町社会福祉協議会提供

コロナ禍における手探りの支援活動開始

7月7日 鹿島市・太良町の各社会福祉協議会にお邪魔し、まずはストックしていたタオルや消毒液などを提供
太良町社会福祉協議会より要請をいただき、太良町を中心に活動を開始

県内各地からの参加と県外からの支援

7月11日 本格的にボランティアの募集と活動を開始
県内から約50件の家屋対応にのべ500名を超える方が参加



太良町社会福祉協議会提供

おもやいの想い・判断

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、同じ九州圏内であっても被災地への支援活動が制限される中、こういった支援活動ができるのかという課題の始まりでした。

おもやいの想い・判断

コロナ禍における支援活動では、特にボランティア募集をどの範囲で行うのかがポイントとなりました。

太良町は長崎県とも接する位置にあり、生活圏としては県境を越えて移動することも日常的になる中で、単に「佐賀県内のボランティア」としていいのか、あるいは太良町を中心に半径100km圏内という形がいいのか、太良町社協の方にも相談しながら、結果的には長崎県内での感染者が県境付近でも発生していたことから、今回は佐賀県内の募集を行いました。

ボランティア参加者用の新型コロナウイルス感染対策を含めたガイドラインを作成して、ボランティアの皆さまにも確認していただくなどご理解・ご協力いただきました。



おもやいの想い・判断

同じ佐賀県内と言っても、地元ではない私たちにはなかなか被災家屋を特定することが難しく、また突然ボランティアに訪問された方にとっては戸惑いも当然あることが想像されました。

そうした中で、地元である太良町社会福祉協議会からいただいた要請によって、それぞれの持ち味が発揮できる連携となったのではないかと思います。

コメント

太良町社会福祉協議会 中村秀貴さんより

昭和37年以来58年ぶりに太良町を襲った豪雨により、町の中心部を流れる川が越水し、多数の家屋が床上まで浸水しました。発災直後より近隣住民や地元消防団員が集まり、土砂や瓦礫の撤去作業に就いていました。

浸水被害への専門知識が不足し対応に苦慮していた中、思いがけず「おもやいボランティアセンター」から支援を申し出ていただき、新型コロナウイルス禍であっても専門的技術を活かした献身的な作業で、被災者も早期に元の生活に戻ることができました。

これを機に「おもやいボランティアセンター」と密に連携し、今後も被災者支援に取り組むつもりです。

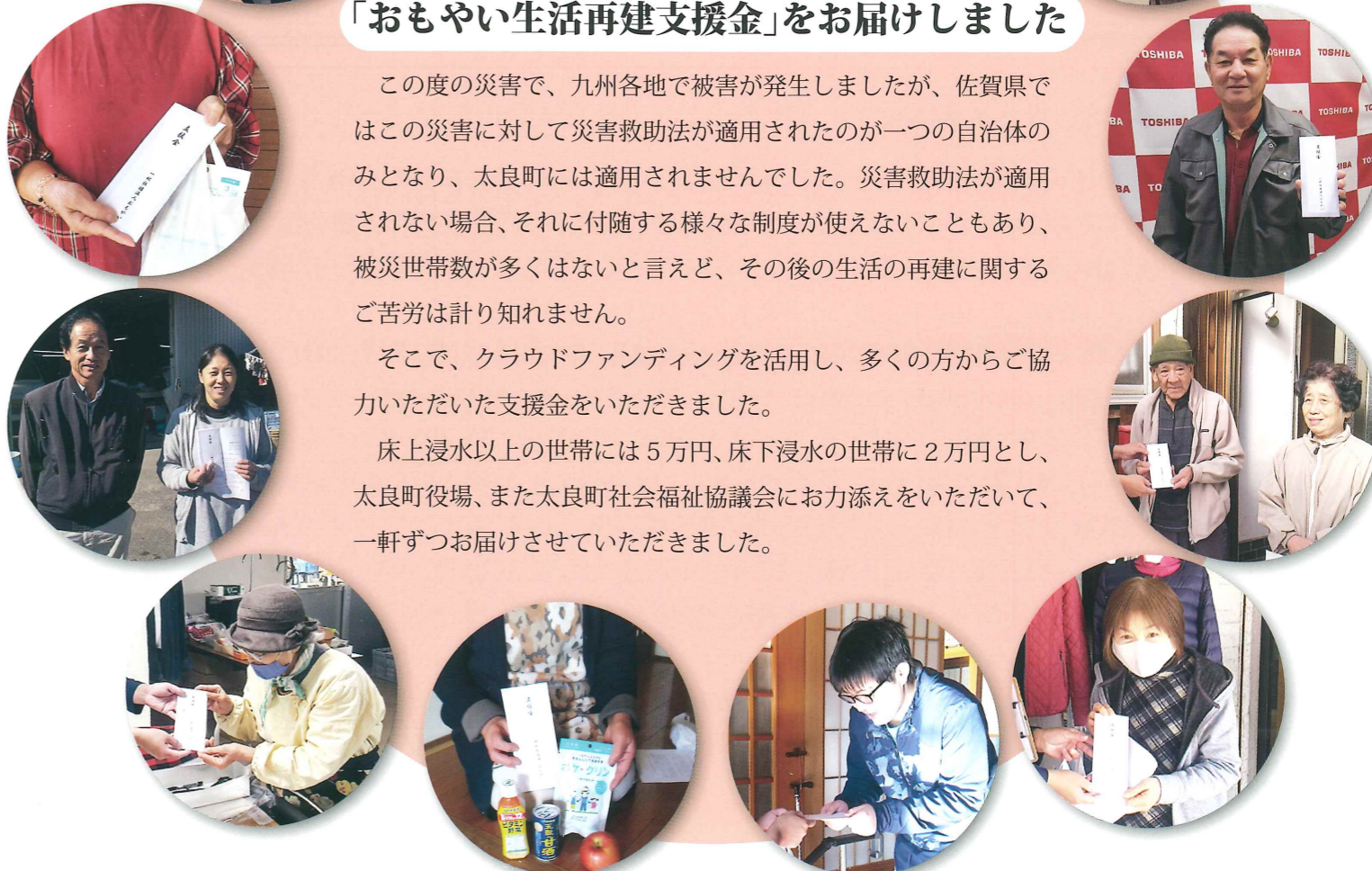


「おもやい生活再建支援金」をお届けしました

この度の災害で、九州各地で被害が発生しましたが、佐賀県ではこの災害に対して災害救助法が適用されたのが一つの自治体のみとなり、太良町には適用されませんでした。災害救助法が適用されない場合、それに付随する様々な制度が使えないこともあり、被災世帯数が多くはないと言えど、その後の生活の再建に関するご苦労は計り知れません。

そこで、クラウドファンディングを活用し、多くの方からご協力いただいた支援金をいただきました。

床上浸水以上の世帯には5万円、床下浸水の世帯に2万円とし、太良町役場、また太良町社会福祉協議会にお力添えをいただいて、一軒ずつお届けさせていただきました。



豪雨災害活動費収支報告 (2021年3月末現在)

日本財団の助成より

収入・項目	金額
助成金額	¥1,000,000
自己資金	¥15,271
合計	¥1,015,271
支出・項目	金額
消耗什器備品費	¥791,612
旅費交通費	¥91,232
事業管理費	¥132,427
合計	¥1,015,271

真如苑の助成より

収入・項目	金額
助成金額	¥100,000
自己資金	¥2,990
合計	¥102,990
支出・項目	金額
消耗品費	¥73,405
車両費	¥29,585
合計	¥102,990

皆様からのご寄付

(クラウドファンディング含む)

収入・項目	金額
寄附金	¥3,400,000

支出・項目

金額	
支援金	¥2,050,000
床上浸水以上 23 世帯 × 50,000	
床下浸水 45 世帯 × 20,000	

残額 1,350,000 円につきましては、今後の災害時の再建支援金としてお届け致します。

本活動は日本財団の「令和2年7月豪雨被害に関わる支援活動」助成を受けて活動しました。



物資提供等にご協力くださった団体の皆様

日本財団様、真如苑様、AAR Japan 様、日本カーシェアリング協会様、曹洞宗佐賀県宗務所様、佐賀県曹洞宗青年会様、アジアパシフィックアライアンスジャパン様、杵藤地区消防職員協議会様、パトラン SAGA 様、居酒屋 nufnuf2.0 様、佐賀県青年会議所様、oisix 様、ソニー生命ボランティア有志の会様、日本レスキュー協会様、ユニ・チャーム株式会社様、#サポウィズ様、ALSOK 様、静岡県ボランティア協会様、SINKA 様、九州災害支援コンソーシアム様、株式会社伊藤園様

令和2年7月豪雨災害にご協力くださった支援者の皆様 (順不同)

コジマコウタ様、家ひきの中島建設様、報恩寺様、堀井秀知様、水月寺様、東末まき様、安達明孝様、亘佐和子様、マスダアザミ様、長安寺・大山様、川本浩介様、宮崎知子様、長井自動車様、ハマダマサミチ様、小林圭一様・由枝様、樋口様、直伝寺様、静岡県ボランティア協会様、タカハラマユミ様、長岡大雅様、株式会社中山建築工業様、中山伸生様、満原清文様 (複数口)、山田幸男様、みらいネットの会様、近藤望様、大島様、イチノセ様、満原建設様、大塩さやか様、SINKA 様、日本基督教団武雄教会様、鶴見区文化協会様、寿福院様、古賀裕美様 (複数口)、中島暢子様 (複数口)、コープ佐賀生協様、山城和美様、白石高校 SEAP 様、東禅寺様、被災地 NGO 協働センター様、中島香織様、中島美代子様、小西桃様、磯野立豊様、那須俊宗様、曹洞宗婦人部様、曹洞宗佐賀県宗務所様、佐賀県曹洞宗十五教区様、DRT Japan 様、DEF Tokyo 様、前田実様、酒井和幸様、持田美沙子様 (複数口)、岡部椅子様、中島雪乃様、亀崎麻里子様、石橋慶子様、川崎湧太様、北村育美様、末石美恵様、磯辺康子様、矢富明德様、松山昇様、小杉裕子様、松本和美様、岡菜桜子様、蒲原恵子様、中島浩様 (複数口)、猪川祐子様、樋口はる香様、黒岩義昭様、河津由美様、松尾早希子様 (複数口)、加藤祐子様、竹内希代子様、御幡圭輔様、山田光様、柳井宏昭様、若竹英一様、林勲男様、覚井誠様、吉澤武彦様、後藤園美様、鍵山博之様、安田和人様、古川洋平様、山下水鶴様、渡邊英典様、尾崎眞様、森剛様、青木立守様、中溝英智様、志村ゆり枝様、大島恵里佳様、松本眞裕美様、宮野公樹様、綿島康浩様、須藤朋美様、中村牧子様、相原博憲様、長谷川孝明様、山田幸男様、松尾由美子様、山口洋典様、(株)ガスコイン・エイシア様、後藤千春様、匿名様多数

皆様、本当にありがとうございました！